

国見町の維持向上すべき歴史的風致

計画期間

令和7年度(2025)～令和16年度(2034)

国見町は、奥州街道・羽州街道が通り、複数の峠が所在する境界の地であることから、交通と軍事の要衝となってきました。この地政的特徴を反映し、源頼朝と奥州藤原氏の数万の軍勢が文治5年(1189)に戦いを繰り広げた古戦場の「阿津賀志山防塁」(国の史跡)が現在に守り伝えられています。また、江戸時代の3つの宿場町、かつての養蚕業の隆盛を反映した農村集落の町並みが、豊かな自然とともに残されています。これらの町並みや歴史的建造物では、伝統的な祭礼や信仰・生業に伴う活動が残され、国見町独自の建造物や営みが地域の人々により脈々と受け継がれ、本町独自の歴史的風致が形成されています。



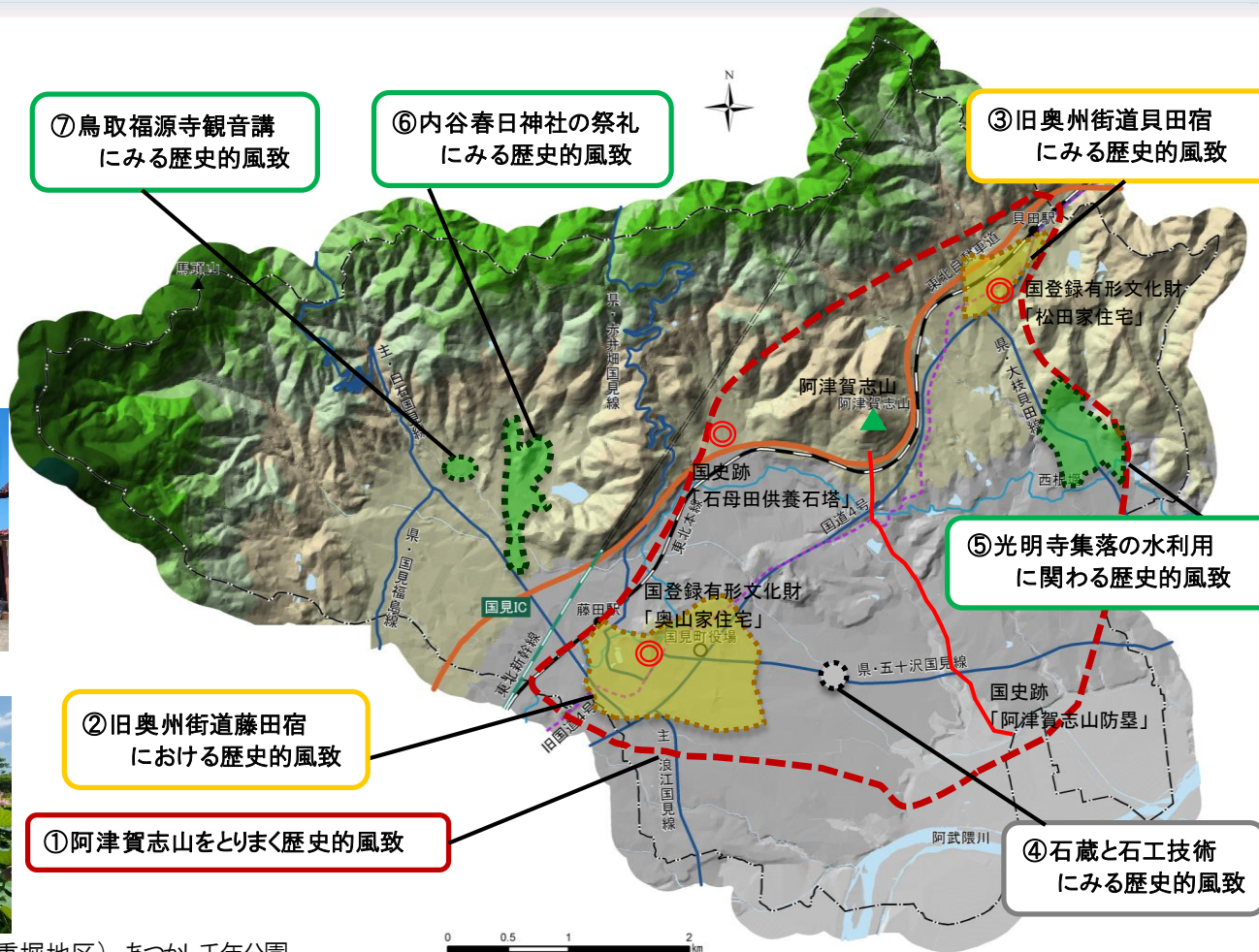
■ 国登録有形文化財「奥山家住宅」



■ 国登録有形文化財「松田家住宅」



■ 国史跡「阿津賀志山防塁」(下二重堀地区) あつかし千年公園



⑦ 鳥取福源寺観音講
にみる歴史的風致

⑥ 内谷春日神社の祭礼
にみる歴史的風致

③ 旧奥州街道貝田宿
にみる歴史的風致

② 旧奥州街道藤田宿
における歴史的風致

① 阿津賀志山をとりまく歴史的風致

⑤ 光明寺集落の水利用
に関わる歴史的風致

④ 石蔵と石工技術
にみる歴史的風致

④ 石蔵と石工技術にみる歴史的風致

国見石が産出する本町の特徴的な産業である石材業は、大正・昭和の歴史的な石蔵とともに守られています。石工技術により町内一円に建築された石蔵が、本町を特徴づける固有の景観となり残されています。



■ 現在も使われている石材加工場

⑤ 光明寺集落の水利用にかかわる歴史的風致

光明寺集落では、清らかで豊かな湧水が伝統的な水利用と信仰に結びついています。湧水と信仰に伴う活動により清浄な空間が作り出され、現在も歴史的な寺社が残る聖域を形成しています。



■ 御瀧神社の湧水に対する信仰

⑥ 内谷春日神社の祭礼にみる歴史的風致

内谷春日神社では、祭礼で奉納される太々神楽が明治15年(1882)より地区の人々の協力により継承されています。社殿に響く太鼓と笛の音色が、地区の伝統芸能と祭礼のにぎわいを伝えています。



■ 内谷春日神社太々神楽

⑦ 鳥取福源寺観音講にみる歴史的風致

鳥取集落では、福源寺地蔵庵観音堂を観音講の人々が守り、巡礼者へのもてなしや法会が行われています。観音信仰が地域に根付き、鳥取集落の人々により活動が続けられてきています。



■ 観音講(観音様を守る会)

① 阿津賀志山をとりまく歴史的風致

阿津賀志山とともに本町のシンボルである「阿津賀志山防塁」は、合戦が行われてから800年間、人々により守られてきました。現在も顕彰活動が行われ、町民が共有する誇りと町の歴史性を感じる場所となっています。



■ 顕彰活動(案内活動)

② 旧奥州街道藤田宿における歴史的風致

旧藤田宿では、山車と神輿が激しくぶつかる、もみ合いを特徴とする「鹿島神社例大祭」が現在も行われています。かつて旧奥州街道の宿場町としてにぎわいをみせた町並みの歴史と伝統を反映した活動が多くの人々により受け継がれています。



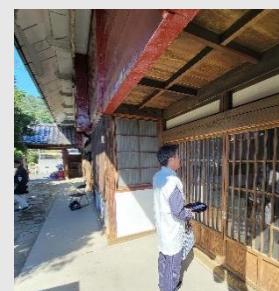
■ 鹿島神社例大祭(もみ合い)

③ 旧奥州街道貝田宿にみる歴史的風致

宿場の名残と明治・大正期の歴史を色濃く町並みに残す旧貝田宿では、祭礼や最禪寺の観音講などが貝田の歴史を反映し、人々の絆を深める活動として行われています。



■ 観音堂



■ 水雲神社例大祭での宿(やど)の活動

国見町の重点区域における事業概要

重点区域の名称 国見町歴史的風致維持向上区域
重点区域の面積 1,115ha

重点区域の設定

区域の設定にあたっては、阿津賀志山をとりまく顕彰活動が行われる範囲に、防塁と旧街道の区域、旧奥州街道上の歴史的建造物が今なお残る、2つの旧宿場町やそこで行われる祭礼、また古くからの水利用が今なお続く光明寺地区を包含する地区とする。

重点区域内において、関連する歴史的風致を一体的、かつ重点的に維持向上させることで、重点区域外の歴史的風致や地域住民等のまちづくり活動にもその効果が広がり、歴史をいかしたまちづくりが一層推進されることが期待できる。

○無形民俗文化財活動支援事業

祭礼や神楽等の伝統芸能の活動内容の把握と映像による記録作成など、学術調査とともに、用具の修繕や活動の支援を行う。



●子ども太々神楽教室

○案内ガイド育成事業

町の歴史や人々の伝統的な活動や町並みと現在の国見町について語ることができる人材の育成を図る。案内ガイド（くにみ案内人・あつかし歴史館サポーター）の養成・研修を目的とした、講習・現地視察等を実施する。



●くにみ案内人
研修講座の様子

○歴史を活かしたまちづくり推進事業

歴史を活かしたまちづくりや町並み・景観の維持・向上に関して住民向けの講演会、ワークショップ、シンポジウム、文化財活用イベントあつかし歴史館イベント、歴史ウォークの開催を行う。



●歴史まちづくりシンポジウム

●あつかし歴史館のイベント

○歴史的建造物保存・活用調査事業

これまでの悉皆調査によって把握がなされた歴史的建造物と周辺の保存・活用に向けた調査を行う。



●奥山家住宅

○阿津賀志山防塁史跡整備事業

○阿津賀志山防塁歴史公園整備事業

史跡の総合的な保存・活用を進めるために必要な保存活用計画の策定を行い、未指定範囲を含めた保存目的の発掘調査とその成果に基づく史跡の追加指定、公有地化、史跡整備を行う。



●良好な遺構が残る
東国見・西国見地区

